ヒデキに届け！YMCA

今年で 18 回目を迎えた「ふれあいまつり」！今回も伏見デイの利用者さんがステージで歌とダンスを発表しました。曲目は UNISON SQUARE GARDEN『シュガーソングとビターステップ』、サザンオールスターズ『涙の海で抱かれたい』、そして５月に訃報が伝えられた西城秀樹さんを偲んで選んだ『ヤングマン（ＹＭＣＡ）』の３曲です。デイの日中活動の中で、ステージを彩る“ポンポン”作りや振りつけの考案を始めたのが６月ごろ。練習の開始当初は振りつけを覚えるだけで精いっぱいでしたが、次第に皆さんの息が合ってきて、動きもきれいに揃うようになりました。そして８月からは曲間に入るMC（どれみふぁ荘の利用者さんが担当）も交え、本番さながらの最終段階に進みました。

そして当日。伏見デイの直前に登場した京都市消防局の音楽隊も『ヤングマン』を演奏するというまさかの展開に一瞬「うわ、先を越された～！」という雰囲気になりましたが、そこは気を取り直してステージへ…。いざ発表が始まり、いよいよ最後の『ヤングマン』。消防音楽隊の見事な演奏の直後だけに、二番煎じの不安もありましたが…そんな心配も何のその、抜群の集中力でこれまでの努力の成果を披露され、利用者さんたちの明るく弾けるようなパフォーマンスに応えて観覧席のお客さんも「Ｙ！Ｍ！Ｃ！Ａ！」と決めポーズをとって下さり、会場全体を巻き込んでの大盛り上がり。熱気あふれる素晴らしい一体感で、最高のステージ発表になったのでした！　（畑谷）

今年度の春レクは、５月下旬から６月にかけて「東映太秦映画村」へ行きました。ここ数年の春レクはＢＢＱが好評かつ定番の行き先でしたが、今年は思い切って企画を一新！伏見デイの外出で太秦映画村へ行くのは約 10 年ぶりのことで、初めて行かれる方はもちろん、当時行かれた方もリニューアルされた映画村を楽しみにされていました。

現地に着くや、さっそく芝居小屋で「３Ｄ忍者ショー」を鑑賞。プロジェクションマッピングを駆使した演出や役者さんの迫力ある演技に、声を出して喜ばれる方や、目を開いて真剣に見られる方など、普段デイでは見られない利用者さんの様々な姿を発見することができました。

園内散策やレストランで昼食をした後は売店エリアへ行き、ご自分の欲しい物や家族へのお土産を選ばれ、例年とはまた違った楽しみ方で過ごされていました。今後も、利用者さんたちに喜んでもらえるような楽しい春レクを考えていきたいと思います。　（小田島）

御礼

デイの開所以来 27 年間ご利用されていました石場研司様が、施設入所のため伏見デイを退所されました。

石場様はデイの歴史そのものです。本当に多くの素敵な思い出をありがとうございました。

退所に際しまして、石場様よりご寄付を頂きました。利用者様のために大切に使わせて頂きます。

これからもお元気でお過ごし下さい。本当にありがとうございました。

所長　時任百子

まどちゃん師範の！！ なぞなぞ道場

Q.「先生がたくさんいる都道府県」ってどこでしょう？　（難易度：★★）

A. 高知（コーチ）県

編集後記

たんばばしだよりも、今号が「平成最後」!?新元号がどうなるやら全く見当もつきませんが…何はともあれ、新しい時代が明るい希望に満ちてくれますように…★（山下）

TANBABASHI-DAYORI

たんば ばし だより

京都市伏見障害者デイサービスセンター
発行責任者：時任 百子
〒612-8318 京都市伏見区紙子屋町 544
TEL：075-603-1290　FAX：075-603-1292
http：//www.normanet.ne.jp/~fusimids/
Email：f-days@kyofc.or.jp

VOL. 43
2019 FEBRUARY

2018 年の師走 ── 世間が年の瀬ムードに包まれるなか、歳末恒例の「伏見デイ忘年会」が全３回の日程で今年度も盛大に行われました！

《午前の部》は 2018 年を振り返るスライドショー上映会。巷を賑わせたこの一年の時事ニュースとともに、伏見デイのできごとを記録写真で懐かしむというもので、笑いあり・涙あり(?)・クイズありの一大スペクタクルな内容に、皆さんわいわい言いながらスクリーンに見入っておられました。

昼食にはお取り寄せのスペシャルランチが登場！ 黒毛和牛のーロステーキや金箔が乗ったローストビーフ、フルーツの盛り合わせといった豪華メニューにテンションＭＡＸで、笑いが止まらない利用者さんもおられました。

《午後の部》については、今回は開催日ごとに違った企画を用意しました。初日はミュージシャンの“木下 徹”さんをゲストに招いて、ミニライブで拍手喝采の大盛り上がり…！そして２日目と３日目は今回のためにと新たに製作した入魂のボウリングセットがお目見えし（詳しくはＷＥＢで☆）、それぞれ違う内容のオリジナルゲームで熱く熾烈な戦いが繰り広げられました。

締めくくりにはプレゼント進呈とデザートのティラミスで、皆さん大満足のいい笑顔…!! 「年忘れ」という言葉とは裏腹に、またーつ忘れられない楽しい思い出を作ってしまったのでした…。　（山下）

YEAR-END PARTY 2018

神戸どうぶつ王国へ

待ちに待った秋の行楽シーズンが到来！ この時期に行なわれる“秋レク”は伏見デイ年間行事の花形です。今年度は 10 月に、花や動物とのふれあいが楽しめる全天候型テーマパーク「神戸どうぶつ王国」へ行ってきました。

高速道路を西へ西へとひた走り、目指すは神戸・ポートアイランド。現地に到着すると、まずは併設のレストランでバイキング形式のランチを頂きました。神戸南京町がちょうど生誕 150 年を迎えたそうで、水餃子や春巻、麻婆豆腐といった中華街とのコラボメニューが盛りだくさん！ どの料理を選ぼうかと大いに目移りしつつも、皆さんがっつり食べて満面の笑みでした。

お腹が満たされた後は、いよいよ園内巡りです。まず特筆すべきは迫力満点のバードショーで、客席の頭上すれすれを滑空してくる大きな鳥に歓声を上げたり、思わず身をかがめたりする利用者さんもおられました。そして園内にはアフリカの“怪鳥”と名高いハシビロコウをはじめ、鳥類ではペリカン・オオハシ・フラミンゴ…、動物ではレッサーパンダ・ワオキツネザル・ナマケモノなど、100 種を超える世界中の生き物たちがいて、皆さん散策を楽しみながらそれらを間近で眺めたり、お土産にとハシビロコウグッズを買ったりされていました。

今回も皆さんに大変喜んでもらえた伏見デイの秋レク。来年度もまた、楽しく魅力的な外出をプロデュースできるよう頑張りたいと思います…！ （山下）

猛暑も過ぎた９月。今年度初となる“どれみふぁ荘 外出レク”が行なわれ、二条城の近くにある和紙の専門店「和詩倶楽部（わしくらぶ）」さんへ出かけてきました。

あいにく大雨の中での外出となりましたが、近鉄電車と地下鉄の乗り継ぎもある中、皆さん切符の購入なども少しずつスムーズになられているようでした。

まずは目的地の近くにある、「町屋ごはん・そいる」という和食カフェで昼食。前菜からデザートまで、コース料理のように出される雰囲気がとっても素敵でした。

食事の後は、今回のメインイベントである“和紙づくり体験”へ…！ 約１時間で紙漉き・絵つけを体験し、作品はそのまま持ち帰ることができます。初めは緊張される方もおられましたが、皆さん夢中になって取り組まれ、普段の創作活動とは一味違う貴重な経験の機会となりました。今後もこうした、皆さんの感性が生かされるような企画を立てていけたらと思います。 （小田島）

和紙づくりを体験。

2018 年度

Welcome / Thanks!

ようこそ ・ ありがとう

今年度も伏見デイでは数々の出会いと門出がありました。お知らせが遅くなってしまって大変恐縮ではありますが、ここで一挙にご紹介させていただきます…！

小山 芽美（こやま めぐみ）さん

昨年３月に支援学校を卒業したばかり、伏見デイ最年少メンバーの芽美さん。奔放で天真爛漫、今では伏見デイのトップアイドル!? としてみんなに愛されています！

食べること、寝ること、お風呂に入ること、そして絵を描くことが大好きです！家では洗濯や料理の手伝いをしたり、７歳下の弟の世話を焼いたりと、しっかり者の一面もあります。どうぞよろしくお願いします。

↑小山さんのお母さまからメッセージを頂きました！

岡田 幹子（おかだ みきこ）さん

10 月より新たに通所されています。普段はゆったり癒し系の幹子さんですが、デザートを食べる時は目がキラキラ…☆伏見デイ屈指のスウィーツ女子なのです。

杖浦 さぎり（すぎうら）さん

昨年 12 月に伏見デイの一員となりました。大相撲と納豆が大好きで、いつも周りの利用者さんを気にかけて下さる、素敵なお姉さん的存在です。

新職員

寺田 耕平（てらだ こうへい）

2018 年４月より、『放課後等デイサービスらいと』から配属になりました。京都での生活は２年目で、それ以前は福岡に住んでいました。好きなものは旅行、バレーボール、お酒です。ちなみにキウイだけはどうしても食べられません。ふつつか者で至らない点も多々あり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後とも何卒宜しくお願いいたします。

石場さん、ありがとうございました

伏見デイ開所当時からの利用者さんだった石場 研司さんが「洛西ふれあいの里 療護園」に入所されることになり、昨年８月にデイをご卒業されました。

研司さん。約 27 年もの間、本当にありがとうございました！どうぞいつまでもお元気でいて下さいね。

これからも研司さんがその明るさで、周囲の人たちを笑顔にしてくれることを願っています…！

デイ職員の小田島 絵美が１月より産休に入ることになりました。伏見デイ一同、嬉しい報せが届くのを楽しみにしています。